施設渋滞WG(利府地区)からの報告

1. 施設渋滞WGの取り組み

現況

〇利府地区周辺の(主)仙台松島線では、交通混雑が著しいことに加え、令和3年3月には、東北最大規模の大規模商業施設が開業。

課題

〇当該施設付近の(主)仙台松島線は「主要渋滞箇所」の存在や「混雑度」の高い区間があるため交通量が増加し、速度低下区間や速度低下時間帯が拡大。

施設渋滞WGの対象地区として、「利府地区」を選定 (令和2年度第2回渋滞協)

今後の取り組み方針

- ○大規模商業施設周辺の混雑改善に向けた調査・検討を実施。
- 〇施設渋滞WGで、交通状況の分析や<u>課題の共有、課題解決に向けた対策案について</u> <u>検討</u>を行う。

利府町中心地区が抱える交通課題

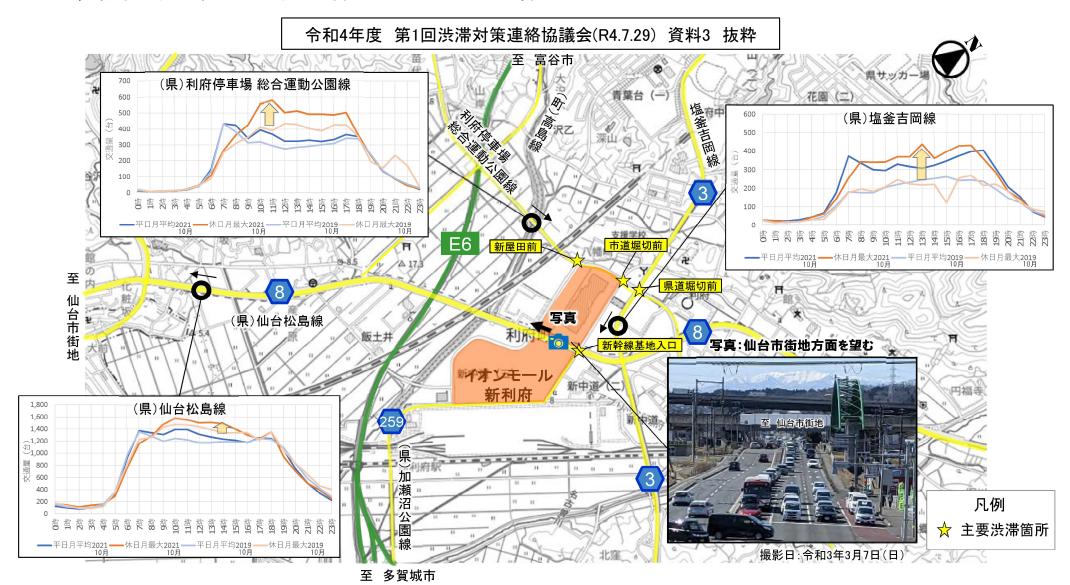
課題1:大規模商業施設周辺の渋滞

課題2:地区編入に伴う大規模商業施設周辺の渋滞の悪化

	対応する	課題解消に必要な調査		調査の結果分かったこと	説明資料
	課題	県	町	調量の指表力がうたこと	武明貝科
R2		施設渋滞WG設置 ※対象地区に「利府地区」が選定			
R3	課題1	・警察トラカンデータによる大規模商業施設立地前後の交通状況 の把握		・大規模商業施設立地後は休日の交通量が増加	P.3
R4	課題1	• ETC2.0プローブデータによる <u>県道</u> の速度低下箇所の把握	・ETC2.Oプローブデータによる 町道の速度低下箇所の把握	・渋滞が複数の交差点に及んでいる	P.4
		・交通量調査による交差点解析	• 交通量調査による交差点解析	・調査した全交差点で滞留長の不足などの課題がある	
R5	課題1	・ <u>県道</u> に接する駐車場出入口部 の交通量調査	・ <u>町道に接する駐車場出入口部</u> の交通量調査	・(一)利府停車場総合運動公園線の渋滞は沿道施設の利用車両のみが要因ではないと推察される・(主)仙台松島線の仙台→松島方向の渋滞は沿道施設の利用車両の流入集中が要因と推察される	P.5
R6	課題1 課題2	・交通シミュレーション(<u>ミクロな範囲</u> を解析する <u>動的</u> 手法) ※時間経過に伴う変化も考慮			
	課題2		・将来交通量推計 (マクロな範囲を解析する静的手法) ※時間経過に伴う変化は考慮されない		P.6

【R3】調査の結果分かったこと

● 大規模商業施設立地後は休日の交通量が増加



【R4】調査の結果分かったこと

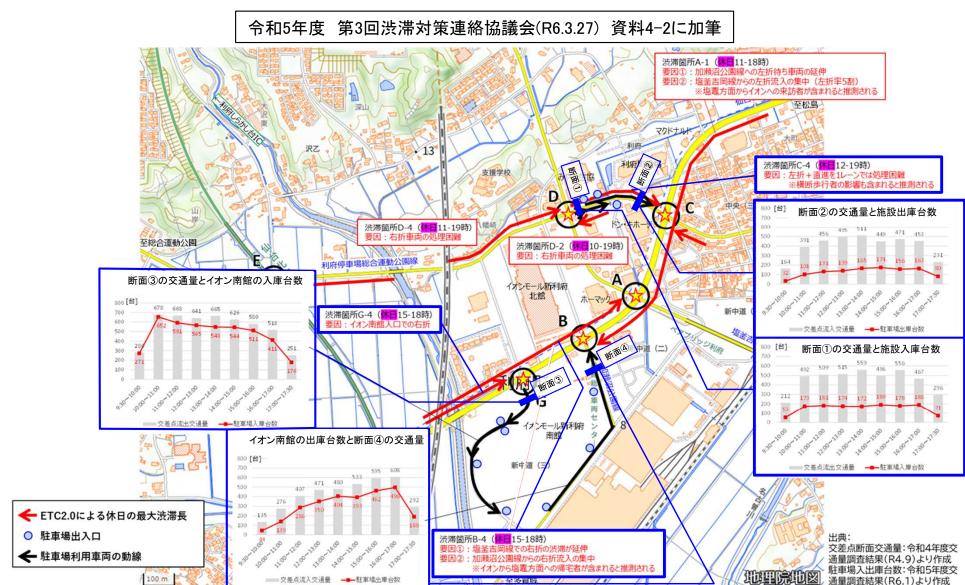
- 渋滞が複数の交差点に及んでいる
- 調査した全交差点で滞留長の不足などの課題がある(○: 交差点における課題有)

令和5年度 第1回渋滞対策連絡協議会(R5.8.4) 資料4に加筆



【R5】調査の結果分かったこと

- (一)利府停車場総合運動公園線の渋滞は沿道施設の利用車両のみが要因ではないと推察される
- (主)仙台松島線の仙台→松島方向の渋滞は沿道施設の利用車両の流入集中が要因と推察される



3. 今年度の取り組み

- これまでの調査により、各交差点での時間帯別の速度低下状況等を把握し、各交差点に おける渋滞対策案(右折レーンの延長など)を検討した。
- しかしながら、<u>車両間の相互作用や時間の連続性を考慮しないため、交差点ごとの渋滞対策が</u> 周辺交差点にどのような効果を発揮するのかについて評価・検証する必要がある。

交通シミュレーションを実施し効果的な渋滞対策案を立案

交通シミュレーションの具体的内容は....

- 渋滞対策なしの場合と渋滞対策ありの場合の交通状況を把握する
- 把握した交通状況を踏まえ、周辺の交差点等への影響を加味した渋滞対策案の優先度を設定
- 渋滞対策案の優先度に基づき、各関係機関と連携して実施可能な渋滞対策案を立案



交通シミュレーション対象範囲(案) 位置図

